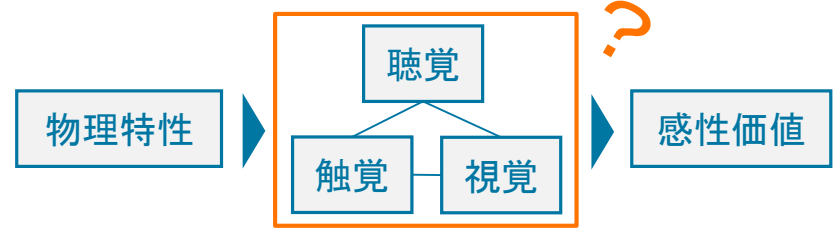


研究背景

スイッチは様々な製品に搭載
➡ 操作感を改善することで付加価値

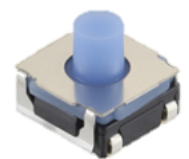


- 課題
- 物理特性—印象—感性価値の関係性
 - 音と感触が複合的な印象に与える影響

研究目的

複合感覚におけるスイッチ操作感の感性モデルの構築

研究対象: プッシュスイッチ
感覚対象: 聴覚および触覚

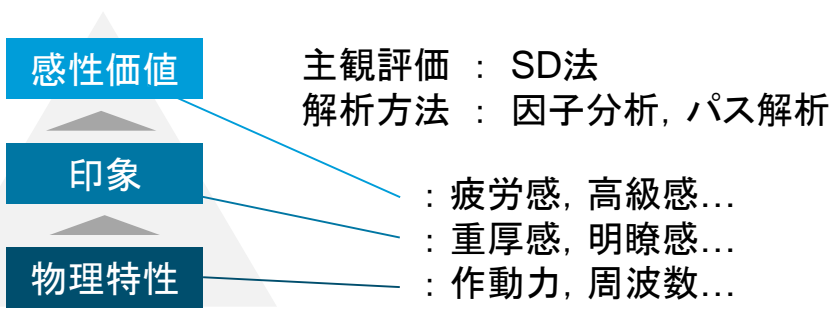


- スイッチ操作感の本質的な理解
- 感性価値を生み出す音と感触の明確化

研究内容

① 単感覚における評価階層の構築

音と感触の感性への影響を階層的に把握



② 複合感覚における操作感の構築

マルチモーダルな操作感形成の把握

- 音と感触の寄与を考慮した複合感覚の操作感の把握
- 適合感を考慮した違和感のない音の条件の把握

